

(活動報告書様式)

団体名	ドリームやまがた里山プロジェクト		
事業名	地域資源アーカイブプラットフォームの構築と運営		
助成事業区分	団体支援助成事業		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	1,000,000 円
		うち助成金額	1,000,000 円



### ■事業目的

環境や防災、文化財保護、景観保全、海川ごみ問題、ベースとなる「地域」には、有形、無形の多くの「地域資源」がある。NPO やボランティア団体は、これら地域資源を健全な形で保つための課題解決活動をしている。一方で、この「地域資源」情報の保持と発信の多くは各団体単位で行われているのが実態で、その継続性が課題になっている。

1つの NPO では実現が難しいことでも複数の NPO が協力し合えば実現可能であることをコンセプトに設立した当団体が主体になり、「地域資源アーカイブプラットフォーム」を構築し継続して運営することを目的とする。

### ■事業の実施

アーカイブプラットフォームの基本システムとして、

長野大学企業情報学部前川道博教授（メディア環境学）の研究室で開発した「地域デジタルコモンズ」を使っている。このシステムは写真や動画、各種テキスト形式に加え、日時、位置情報等のメタ情報を一元的に管理できる。すでに長野県内複数の地域で地域資源アーカイブシステムとして運用が始まっている。この基本システムはデジタルコモンズプロジェクトがライセンスを所有しており、システム利用およびカスタマイズや継続したアドバイスは所有者の前川教授から了承済みである。また当会システム担当がカスタマイズ作業を行い、山形県版地域資源アーカイブプラットフォームとして継続運用する。初期運用コンテンツとして、「西川町資料館地域文化資源アーカイブ」、「災害ボランティア情報収集システム」

の2つを構築した。

### ■事業の成果及び今後の展望

#### ①事業の成果

「山形県版地域資源アーカイブプラットフォーム」を構築したことにより、環境や防災、文化財保護、景観保全、海川ごみ問題、自然体験などの公益活動のアーカイブ化の基盤ができ、知識循環型社会への貢献が期待できる。

#### ②今後の展望

- ・来年度以降、公開コンテンツとして、文化財や川ごみ調査報告はじめ、様々な循環型社会に向けた取り組み等の追加を計画している。また、非公開コンテンツとして、生態系調査報告の活用も検討している。

- ・システム運用は、当会事業収益を活用し継続性を担保する。